

京都さつきNEWS

Vol.14

京都さつき法律事務所報 第14号 2009(平成21)年7月25日発行

発行人 京都さつき法律事務所 〒604-0931 京都市中京区河原町二条西入る榎木町95番1 延寿堂ビル2階

TEL 075-257-3361 FAX 075-257-3371 E-mail: info@kyoto-satsuki.jp HP: http://kyotosatsuki.xtr.jp/

編集責任者 山下信子

暑中お見舞い申し上げます

2009年盛夏

京都さつき法律事務所一同



近況報告

弁護士 山下信子

4月から京都大学法科大学院のリーガル・クリニックの指導弁護士をしています。これは、法科大学院（ロースクール）の授業の一環として実施される無料法律相談を、学生とともにを行い、理論面・実務面からの指導をするというものです。山下の生徒は大学院3回生の3人です。

初めての実地の法律相談を体験することから、学生たちは真剣です。多忙な法科大学院の勉強のなかでも、よく準備をし、相談者の一言ひと言を聞き漏らすまいと緊張しています。

相談者の方も、市役所などの無料法律相談に比べて時間が長く（通常の無料相談はせいぜい20～30分程度なのに対し、この相談は90分あります）、じっくりと相談できること、学生たちの一所懸命さに、感謝して帰

られます。

学生たちは、これから司法試験を受験、合格後1年間の司法修習を経て、裁判官・検察官・弁護士になってゆくわけですから、司法試験の受験にも役立ち、実際の仕事についてからも役立つように、私も真剣です。でも、とにかく学生たちは「かわいい」。初心に戻って楽しく指導しています。

【さつき読書館 No2】

「離婚」本あれこれ

離婚件数の増加のためか、年金分割制度の確立からか、はたまた調停から弁護士の援助を受けられるとの知識が普及したからなのか……とにかく離婚事件が増えています。女性弁護士としては離婚事件が少なかったほ



5月、大文字山にて

う？の私も、昨年あたりから、家庭裁判所に出る日がグンと増えました。

事件の洞察力、切り込み力？

をつけたくて、最近目を通したのが、『離婚の品格』、『妻が得する熟年離婚』、もと家裁調査官の『反離婚のすすめ』、それに、6月にあった大阪弁護士会の研修で、講師の上野千鶴子東大教授が紹介していた、『家族、積みすぎた方舟（はこぶね）』、『ケアの絆 自立神話を超えて』です。

上野千鶴子教授の講義、米国のフェミニズム法学者の『家族、積みすぎた方舟（はこぶね）』や『ケアの絆 自立神話を超えて』のジェンダーの視点（ジェンダーの定義は、社会において女らしい男らしいとみなされる特徴の総体）は、「良妻賢母教育が内面化している」？山下にとっては、目から鱗のおもしろさでした。

でも、実際の事件ではジェンダー論はまだまだです。その点、『離婚の品格』は、担当している事件を頭に浮かべつつ、共感したり反論してみたり、参考になりました。弁護士歴51年、8800件ものケースを見てきた女性弁護士が、離婚問題に悩む女性たちに向けたメッセージをまとめた書です。共感するのは、離婚は人生の汚点ではない、離婚に立ち向かうときの自立（親か

ら、夫ないし妻から、子どもから）の大切さです。

離婚事件の場合、企業の事件と異なり、理論面での論争はあまりありません。しかし、依頼者が、調停や裁判を通じて、自立し、さまざまな意味で配偶者と決別し、自分の足で歩いていける手助けができるとき、相

談に来られた最初の頃と変わって明るい顔になっていかれるのを見るとき、言葉は悪いですが離婚事件の醍醐味を感じます。これは、夫側につくときも妻側につくときも同じです。もっとも、この「自立」も、ジェンダーの観点からは、慎重に使わないといけないようですが……。

夜間法律相談を始めました

修習生から、「さつき事務所にはじめて相談に来られるのはどういう方か」と質問がありました。さつきニュースの読者のご紹介、弁護士会や市などの法律相談で出会った方、以前に担当した事件の依頼者やその親族、ご友人らの紹介がまずあります。裁判の相手方だった企業や個人が、次の案件では「さつきに」と言ってこられることもあります。

最近増えているのは、インターネットで、京都弁護士会のホームページや、さつきのホームページにアクセスして、相談を申し込まれる方です。いよいよ、紹介ではなく自分で弁護士を探して相談する時代になったようです。

ともあれ、仕事や育児の関係で、夜にしか相談に行けないという方が多く、今までも、可能な限りご要望に応じてきました（体力のある内村は夜遅くても平気です？）。が、いっそのこと、夜間法律相談の枠を設け、さつきホームページにてお知らせすることにしました。当面、木曜日の夜6時～8時の枠で申し込みを受け付けています。申し込みは平日の9時～18時まで、電話075-257-3361あるいは、メールinfo@kyoto-satsuki.jpで受け付けています。



さつきで弁護士実務修習

想像をはるかに超える楽しい時間



京都さつき法律事務所でお世話になっている

I 修習生

第62期司法修習生です。昨年の事務所忘年会に呼んでいた際に、山下先生より「うち

は厳しいから覚悟しときよ」とのお言葉があり、大きな大きな不安と緊張と共に始まった修習でした。

しかしこの3週間を振り返ってみると、山下先生とフラダンスをしたり、山下先生お手製イタリアンを事務所の方々と御馳走になったり、先生方各夫妻の仲のよさを目の当たりにしたり、

全国先物被害研究会に参加してきました

弁護士 内村和朝

3月下旬に「全国先物被害研究会」の仙台大会に参加してきました。「全国先物被害研究会」とは、商品先物被害その他の悪質投資被害の救済に取り組む全国各地の弁護士によって結成された任意の研究会で、毎年2回全国各地持ち回りで全国研究会が開催されます。

私は、以前から先物や悪質利殖商法の被害救済に関心があり、「京都証券先物被害研究会」



に在籍しています(月1回定例の研究会が行われています)。そうしたこともあり、勉強のためにも全国研究会にはできる限り参加するようにしています。このような表向きの参加理由(山下先生向けの参加理由??)に加えて、全国各地を旅することができることも参加の大きな理由です。前回の仙台大会では牛タンを堪能してきました(定食で2000円足らず、リーズナブルでしたが、やはり本場は肉厚が違いました)。

全国研究会では、東海大学の
新保教授による講演(「商品デリバティブと消費者保護」)や事例報告等たいへん盛り沢山でした。特に新保教授による商品デリバティブに関する講演はたいへん興味深いものでした。最近の事件の傾向も、被害の代表的存在だった国内公設の商品先物事件については、業者の廃業が相次いだため事件としては減少傾向で、その派生版ともいえる海外商品先物、海外商品先物オプション取引といったものに

移っているように思われます。私が現在受任している事件も国内公設に関する事件はなく、海外商品先物、オプション取引になっています。また、証券分野においては、EB債等のいわゆる仕組債にまつわる相談が多いように思われます。こうした事件を受任して事件処理を行うには、デリバティブに関する知識が必要ですが、市販されている書籍を読んでもなかなか理解が深まっていないところでしたので、今回の講演はたいへんためになりました。

今回の全国研究会は神戸で開催されます。近場なので旅気分は味わえないでしょうが、勉強になる研究会です。次回も是非とも参加したいと考えています(あと余談ですが、今回の全国研究会では、中学の同級生と15年ぶりに再会しました。あまり時間がなかったのでゆっくり話す機会がありませんでしたが、今回の全国研究会ではお互いの近況等についても話したいと思っています)。

想像をはるかに超える楽しい時間を過ごせています。

仕事面では、先生方が依頼者の方から根気強く話を聞く様子や、質問やコメントの的確さに、驚きの毎日です。また、次から次へと相談や期日があり、依頼者の方に駅まで車を飛ばして頂いて電車の中でお弁当を食べたり、裁判所の中をダッシュして

タクシーに飛び乗ったり……内村先生も度々書類の束を大きなカバンに詰めて急いで事務所を出ていかれ、ほとんど事務所にはいらっしやらないので、体力的にタフでなければ弁護士は務まらないなと感じる瞬間が多々あります。

私は相談や接見で出会った方々の思いを、自分の中にも積

み重ねていってしまう部分がありますが、先生方は思いはきちっと聞きながらも、颯爽と仕事をしておられてかつこいいなあと思います。弁護士は一生勉強、との姿勢を忘れず、先生方のように熱い心を秘めた弁護士になりたいと思います。

事務局のまど

修学旅行

今年の5月から6月、街中の修学旅行生の姿が激減しました。ご承知の通り新型インフルエンザの影響で、先生や父母の立場からすると心配も当然のことではあります。

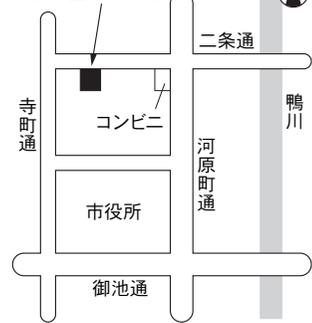
とはいえ、一生思い出に残る折角の行事。幸い、旅行を中止した学校の9割方は、改めて旅行計画を立てているとのことですが、時期をずらしても是

三澤孝一 事務員

非京都に来て欲しいと思います。私も2度京都に修学旅行に来ましたが、アホをして2時間正座を申しつけられたことも含めて楽しかった記憶は残っているのですよね。通勤時など修学旅行生の一団を邪険に思ったりもしますが(反省...)、いい思い出を作っていって欲しいなと思うのです。

事務所へのアクセス

京都さつき法律事務所
(延寿堂ビル2階)



河原町通二条の交差点を西へ入り、少し行った南側、漢方薬局「延寿堂ビル」の2階です。

交通機関は、地下鉄東西線又は市バス「市役所前」から歩いて5分弱、京阪三条駅から歩いて10分程度。

お車でお越しの際は、事務所専用の駐車場は設けておりませんので、付近の駐車場をご利用ください。

〒604-0931
京都市中京区河原町二条西入る
榎木町95番1 延寿堂ビル2階
京都さつき法律事務所
電話 075-257-3361
FAX 075-257-3371

さつきシネマ菅 菅佐知子 事務員

スラムドッグ\$ミリオネア

何とはなく見ていたアカデミー賞の授賞式。

そこでいちばん取り上げられていた「スラムドッグ\$ミリオネア」を観に行ってきました。

スラム街で育った孤児のジャマールは、インドの人気番組「クイズ\$ミリオネア」で、あと1問で全問正解のところまでたどり着く。無学の少年が答えられるはずはないと、司会者には疑われ、賞金の支払いを渋るテレビ番組の差し金で警察に連行され、尋問を受けることになる。

なぜ、孤児であったジャマールは100ドル札に印刷された大統領の名前や、ピストルの発明者を知り得たのか…?

警察の尋問、クイズが続く番組、そして彼の子供時代の記憶を行き来しながら、物語は進みます。クイズの回答に関しては、

少しご都合主義で粗さが目立つなとも思いました。でもその分、この映画には圧倒的パワーがありました。また、音楽がとても良く、ぐいぐい引き込まれました。(エンドロールが個人的には一番良かったです!)

フィクションなのだけれども、最後の落ちというのはインドにカースト制度がある所以とも思える何かがあるような気がして少し怖くもありました。

原作とはだいぶストーリーが違うらしいので、原作を読もうかなあとぼんやり思っています。

その前にサウンドトラックを購入して、エンドロールの踊りを覚えたいなと秘かに企んでいるわたしです。覚えてどうするつもりなのかは謎ですが。



編集後記

今回は比較的早く、夏号をお届けすることができました。

さつきニュースも14号、独立して8年目に入りました。

今年も酷暑になりそうです。景気も下げ止まり傾向と言われつつ酷な状況です。先日の日経新聞によると、京都府内の倒産件数は前年同月比27%増で2001年以降最多、滋賀は2.4倍で過去最悪とのこと。みなさまの会社、仕事が無事でありますように。お身体を大切に。頑張らしましょう。

